

第27回

いきいき長寿県民賞

受賞者の横顔

～はつらつと輝いているひと～

令和6年11月

福島県
社会福祉法人福島県社会福祉協議会

第27回 いきいき長寿県民賞の活動紹介

福島県では、毎年、中高年や高齢者の社会参加を始めとした“生きがい”と“健康づくり”を推進することを目的に、年齢を感じさせない生き方をしている高齢者や積極的に社会参加活動を行っている高齢者の団体を表彰しています。

今年度は**個人3名、団体2団体**が受賞されました。

(個人・団体別に五十音順)



“しめ縄づくり”で地域貢献！！

おおうち さぶろう

大内 三郎 さん (89歳) 二本松市

昭和46年大内建設工業を興し、蓬萊団地造成等の土木工事を受注していましたが平成23年3月の東日本大震災を機に会社を閉鎖しました。

平成3年頃から仕事でお世話になった中野不動尊さんへの感謝の気持ちとして、歳祭り参拝と大しめ縄の奉納を始めました。また、妻が作業中の事故による怪我からの回復を契機に、平成19年からしめ縄づくりや、藁細工製品の寄贈活動を行い、現在も二本松市社会福祉協議会・高齢福祉施設をはじめ市内の神社、学校への寄贈活動を継続しています。

趣味が多彩で野草や盆栽クラブに所属しています。安達ヶ原ふるさと村の古民家での藁細工や炭焼きは二伊滝で行っています。また、青年海外協力隊訓練所の協力員(にはんまつ地球市民の会)として隊員の激励、交流を深めています。

西谷棚田集落に参加し、田植え祭りの先導、しめ縄づくりの指導、耕作放棄地防止の草刈作業にも参加しています。

第49回二本松方部高齢者と身体障がい者作品展において、高齢者部門の最高賞である市長賞を受賞しました。

第32回福島県シルバー美術展(令和5年度)彫刻・工芸部門において、福島県老人クラブ連合会長賞(最高齢者賞)を受賞しました。

第33回福島県シルバー美術展(令和6年度)彫刻・工芸部門において、テレビユー福島社長賞を受賞しました。



真のノーマライゼーションを目指して

おぬま みつこ

小沼 光子 さん (88歳) 会津若松市

長男(昭和40年生まれ)が3歳の時高熱を出し、重度の障害を持ってしまったのに会津では就学も叶わず、石川町の入所施設「桜ヶ丘学園」で過ごすことになり、親元を離れて生活をしなければならませんでした。この時の辛い思いが、養護学校の設置、入所施設の建設運動へと向かうことになりました。

昭和45年に会津若松市手をつなぐ親の会に入会し、養護学校設置の署名を県に陳情、更にその間、入所施設建設要望を作成し市に提出。地域の理解を得るために会津若松市各種団体連絡協議会に参加しました。昭和59年に社会福祉法人「若樹会」を設置し、理事を務め、同年共同作業所チャオ(会津若松駅前)を設置し、所長を務めました。その後も、会津若松市協働参画の会等に参加しています。

会津地区は、障がい者に対して閉鎖的で運動を進めるうえで最初は家族に受け入れられませんでした。運動の成果が目に見えてきた時から協力的になり、入所施設「りんどうの家」(会津若松市芦ノ牧)の名称は当時高校生だった娘の発案「りんどう」が採用され、名づけられました。

ノーマライゼーションの父とも呼べるデンマークのバンクーミケルセンは、「障害のある人に障害のない人々と同じ生活条件を作り出すことである」と言っているとおり、親の会としても障がい者本人達が、地域で当たり前の生活をするために、必要な支援を用意する。これがインクルージョン(全てを包み込むということ)であり、その一つが共同作業所「チャオ」の設置でしたが、残念ながら現在は閉鎖してしまいました。

農業や植物を通して地域おこしに尽力

さくま しんいち
佐久間 辰一さん (72歳) 田村市

岩瀬農業高校実習助手を経て、双葉農業、小野、岩瀬農業高等学校の各教諭を務めました。平成18年福島県で初めての優秀教員表彰受賞(文部科学大臣表彰)。退職後は、専業農家となり、現在は牧野ひまわり会会長、田村市グリーンツーリズム連絡協議会会長、牧野農を活かしたまちづくりの会会長、支え合うひまわりの郷大越町会長等を務めています。

牧野ひまわり会の発足は、平成8年5月3日。「平成5年圃場整備が進められ、昔ながらの田園風景が薄れたことや勤める人が多くなり世代間の交流が少なくなったことから、住民同士の繋がりが減り閑散化してしまったことなどがある」「ひまわりで地域をきれいにし、花見をしよう」と、地域の有志と道路や河川沿いに5千本のひまわりの種を蒔いたことが、牧野ひまわり会の最初の活動となりました。

現在は毎日4時に起床し、畑に一礼してから自身の植物の世話をしています。牧野ひまわり畑は、田村市の観光名所として写真コンクールの題材に選ばれるまでに親しまれ、観光名所の一つとなっています。近年は福島美少女図鑑とともに図鑑農園を営みYouTubeにも公開されています。農業の6次化産業にも意欲的で、国の復興支援事業「ふくしまみらいチャレンジプロジェクト」に参加し、パッションフルーツの加工品作りにも挑戦しました。県内の事業所と連携し、ジャムやゼリーとして商品化され、田村市・あぶくま洞などで販売しています。

佐久間氏が主人公として登場する絵本「ぼくのひまわりおじさん」は、現在日本語、英語、アラビア語、ベトナム語、スペイン語、フィンランド語、マレー語の7国語に翻訳され、世界中で読まれています。

座右の銘の「人は人のために生きてこそ人である」や、大事にしている言葉「頼まれごとは試されごと」「返事は0.1秒」があり、人とのご縁を大事にし、何事も楽しんで意欲的に挑戦しています。

郡山市の歴史・名所・旧跡を案内するボランティア団体 郡山水と緑の案内人の会 郡山市

この団体は、水と緑豊かな郡山の自然と、先人達が築き上げてきた郡山の歴史、更に未来に引き継ぐべき伝統文化等を継承し、仕事や観光で郡山にきた人達に、まちの歴史やグリーンベルト地帯の美しい自然を紹介し、社会に貢献することを目的に、平成18年に設立されました。

世界のどこより郡山が大好きな人達が、地元の人を始め来郡者に対し歴史・名所・旧跡を、徒歩にて案内するボランティア団体で、構成員39名中13名が女性、平均年齢は75歳、最高年齢者は91歳と高齢ながら日本一の高齢者案内人の団体を目指し、構成員全員が知識等を磨き向上させる取り組みを継続しています。

JR郡山駅と連携して、月に3回程度の史跡案内を行うとともに、学生への安積疏水案内バスツアーに添乗して案内を行っています。また後継者の育成にも取り組み、座学や現地研修を積極的に行っています。

月1回月例会を開催し、活動状況、今後の予定、活動方針などを決定しています。班が5班に分かれており、会員にはそれぞれどれかの班に所属してもらい、予定や行事への参加を促す仕組みとなっています。

障がい者や高齢者でも巡ることができるコースを設定しました。昨年までは、新型コロナウイルスの影響でなかなか困難でしたが、今年は積極的に参加を呼び掛けることにしています。

地域行事と連携していきがづくり

白河市白寿連合会緑ヶ丘ひまわり会 白河市

当地域は新興住宅地であることから、意思疎通を図りお互いを知り合うことを念頭に、1991年(平成3年)に設立。会員は、8つクラブ活動(グランドゴルフ、筋力アップ、歌ごえ、輪投げ、ダンス、ボッチャ、手芸、絵手紙)にも所属します。

月ごとの例会で自由に討議し意見を集約し、翌日より実践に移します。また、8つあるクラブ活動には、会員全員加入が望ましく、常時会員の80%が活動しています。地域との関わりを大切に、活動を共にして相互理解に努め、笑顔を絶やさないことを心掛けています。

令和5年度は、町内会行事参加6回、いきいきサロンへ13回、地域住民とのクラブ活動10回、同茶話会散策2回を行い、令和6年度も同程度を行う予定です。

白河市白寿会主催の芸能発表会、輪投げ大会、作品展でたびたび上位入賞。花壇管理等で白河市環境緑化推進協議会より表彰されます。(2回)令和5年度は、福島県老人クラブ連合会より「高齢者ふれあいコミュニティづくり事業」の指定を受けたため、計画を拡充して活動してきました。本年度も、この活動を継続しています。

団体の4つの特徴：①月初めの土曜日に定例会を開催。前月の活動報告、今月の諸計画が討議されます。②8つのクラブ活動が活発で、和気あいあいのうちに時が経過します。③地域行事に積極的に参加し、またクラブ活動等には門戸を開き、高齢者を招き一緒に技を磨き、終了後はお茶で談笑します。④町内会主催で月に1~2回開催されるお年寄り対象とした「いきいきサロン緑ヶ丘」に、ボランティア活動として同席しています。

いきいき長寿県民賞について

主催：福島県

目的

いきいき長寿県民賞は、いきいきと年齢を感じさせない生き方をしている高齢者及び積極的に社会参加活動を行っている高齢者団体の活動事例を広く県民に紹介することにより、高齢者の方々の社会参加をはじめとした生きがいと健康づくりを推進することを目的に実施しています。



募集対象

福島県内に居住する概ね65歳以上の個人又は対象年齢の方々に構成されている団体で、以下のように主体的に社会と関わりをもち、年齢を超えていきいきと充実した生き方をしている方々を対象としています。

- 過去に培った知識や経験を生かして、高齢期の生活で社会に還元し、活躍している方又は団体
- 中高年から一念発起して物事を成し遂げた方、又は高齢期を新しい価値観でいきいきと生活している方
- 自らの努力、修練等により、優れた体力・気力等を維持し、活躍している方
- 地域社会と積極的に関わりを持ち、社会参加活動等を実践している方又は団体
- 前各号のほか、この賞にふさわしいと認められる方又は団体

今年度(第27回)の応募・推薦状況

方 部 名	個 人	団 体	合 計
県 北	6	2	8
県 中	3	1	4
県 南	0	1	1
会 津	2	0	2
南会津	1	0	1
相 双	1	0	1
いわき	0	1	1
合 計	13	5	18